

地域情報誌
2014年2月
(No13)

DEすがね

編集・発行 生きがいのある須金をつくる会

大津島の地域情報誌「潮流」との交流会を開催！



(北山の自治会館前にて記念写真)



(どんど焼きに合流)



(「それーねの日」視察)

新年1月12日、大津島のコミュニティ誌「潮流」の編集委員5名の方を須金に迎え、「DEすがね」編集委員との交流会を開催しました。

北山を訪問して、奇祭「廣實申し」についてお話を聞かせていただいたり、どんど焼きに参加し、須金住民との交流を深めたり、さらには「それーねの日」を視察し、玉入れ大会で盛り上がったりと充実した一日を過ごされた様子でした。

大津島の方々が何よりびっくりされていたのが、須金の伝統文化、人々の絆の深さ、広場で遊び回る子供達の姿、お年寄りの元気な笑い声でした。そして、私達も改めて、その魅力を再発見できました。過疎・高齢化という同じ問題を抱える2つの地域が、お互いのよいところを取り入れて、地域が元気になっていく。今後もこのような交流会が続いていくといいですね。

(文 / DEすがね編集委員 須田浩史)

Q 1 . 子供の頃の夢は何でしたか？

A 1 . 歌と踊りが好きで、宝塚歌劇団に入りたいと思っていましたが、身長160cm以上という受験資格に断念しました。(笑)

洋服のデザインも好きだったのですが、栗屋に自分のお店「手づくりショップ すずらん」を出すことができましたし、娘も東京で洋服のデザイナーをやっています。親子で夢が叶ったと思っています。

Q 2 . 昨年度まで、須金郵便局長としてお勤めされてこられました。振り返っていかがですか？

A 2 . 地域のために働いてみないかというお声掛けをいただき、平成17年から8年間務めさせていただきました。

局員10名の集配局から、その後無集配局となり、民営化も経験しました。そんな中、局員みんなで頑張っ、物販部門では中国地方1位にもなり、全国表彰も受賞させていただきました。これも地域の皆様、農園の皆様のご協力があったので、お礼を申し上げます。

Q 3 . 義娘さんでもいらっしゃる新局長さんにエールを。

A 3 . どんどん地域の中に入って行ってほしいですね。自信を持って、そして、笑顔で楽しんでもらえればいいと思います。

「新しい局長さん、いいね!」と、皆さんがおっしゃってくれるのがとてもうれしいです。孫の面倒は任せといて!(笑)

Q 4 . 新たな活動を始められたそうですね。

A 4 . 須金のイベントで紙芝居を読ませていただき、その楽しさとやりがいを感じるようになり、「山口子どもの文化研究会」という、子どもに紙芝居の読み聞かせをする会に入りました。藤井律子県議さんも会員さんなんですよ。もっと表現力をつけて、いろんなところで須金の昔話を聞いてもらいたいです。

人物紹介

二家本友江さん(上市)



(須金市日での紙芝居上演)



(河村隆夫さん受賞祝賀会にて)

須金の有志3名が大津島ポテトマラソンに参加!

12月1日(日)、第24回大津島ポテトマラソンが開催されました。今年は須金から、ハーフマラソンの部に4名がエントリーし、この日のために練習を重ねてきました。

当日は、まずまずのお天気、多くの声援に見送られ、楽しい雰囲気の中スタート。しかし、それも束の間、いきなり急斜面を登り、山の上まで行くコースで、すぐに会話も無くなりました。その後も山を越えて、島の反対に行っては帰るといった難コースの連続。以前、車で島を回った時は失礼ながら小さいなあ、と思われた島が、ものすごく大きく感じられました。海を眺める余裕も無く、くじけそうになりましたが、島の方々の声援に励まされ、ハーフの部に出場の3名(山縣 聡、平尾宏道、須田浩史)全員完走を果たしました。(あれ? 1人減っている!?)

ちなみに、ウォーキングの部にも須金から数名参加され、また須金のスポーツ推進委員や支所の方々もスタッフとしてお世話をされました。お疲れ様でした&ありがとうございました。

(文/山縣 聡)

懐かし写真館



須金市日。

昭和何年かは特定できませんが、当時の賑わいがよく分かります。もしかして若かりしあなたが写っているかも。

撮影年/昭和20年代後半

提供者/須金支所所有

須金ミーティングを開きます！

先日、各戸にチラシを配布しましたが、これからの須金について、みんなで話し合う会、「須金ミーティング」を開きます。すでに第1回目は終了しましたが、さらにたくさんの方にご参加いただき、様々なご意見等を踏まえ、「須金の夢プラン（仮称）」を作りたいと思っています。是非、ご参加いただき、未来の須金を語り合しましょう。

・日時および内容

回	日時	みんなで話すこと
第1回	1月27日（月） 19：00～21：00	5年前と比べどう変わった？どんな須金になればいい？
第2回	2月10日（月） 19：00～21：00	住みやすい須金になるためには、どんなテーマがある？
第3回	2月25日（火） 19：00～21：00	好きなテーマごとに分かれ、須金の夢を考えてみよう
第4回	3月18日（火） 19：00～21：00	みんなの意見をまとめた夢プラン（仮称）をみてみよう

※4回シリーズですが、可能な日だけでもご参加いただけます。

・場所 須金支所 大会議室

・対象者 須金に在住または関係される方ならどなたでも

特に女性や子どものご参加をお待ちしています！お子さん連れ大歓迎！！

・進行 NPO法人市民プロデュース 平田隆之さん

・その他 参加者数の把握のため、ご出席いただける方は事務局までご連絡下さい。 86-2201
お茶とお菓子を用意しています。



須金歯科診療所よりお知らせ

これまで、歯科治療用の椅子が1台しかなく、お待たせして、ご迷惑をおかけしていましたが、昨年12月25日から新たに椅子が1台整備されました。このことで、お待ちいただく時間が短くなりましたので、お知らせします。皆様のご利用をお待ちしています。



須金地区主な行事予定 (2~3月)

2月

- 2月 2日 (日) クリーン大作戦
人権教育講演会
- 2月 3日 (月) 市県民税申告相談
- 2月 9日 (日) それーねの日
- 2月 10日 (月) 須金ミーティング
- 2月 12日 (水) 小学校一日入学
- 2月 23日 (日) 山口県知事選挙
- 2月 25日 (火) 須金ミーティング
- 2月 27日 (木) 小学校地域参観日

3月

- 3月 2日 (日) 消防団訓練
- 3月 9日 (日) それーねの日
- 3月 17日 (月) コミュニティ理事会
- 3月 18日 (火) 須金ミーティング
- 3月 26日 (水) 小学校修了式

須金せせらぎ短歌会 ~今月の一首~

給ひたる春の七草覚えむと

声に出しては確かめて食(は)む

山縣佳代子

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励まみや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育って、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

(第13回)

廣實申し その一

文 高橋 勝己

1185年、屋島の合戦に敗れた平氏は、赤間ヶ関に逃れ、源平最後の決戦が行われました。平家の武将として戦った廣實左近頭定国（ひろざねさこんのかみさだくに）は、屋島にて矢傷を負い、家臣74名と共に山陽路を通過して赤間ヶ関へ向かっていましたが、途中で平氏軍が敗れたことを知ります。落武者となった左近頭らは、源氏の追手から逃れるため、錦川をさかのぼり前人未踏の地、今の広瀬の向畑に逃げ延びたのでした。

向畑で廣實一族は、源氏の追手から逃れるために、姓を森田、河村、藤村などと名乗っていました。一族は向畑を拠点として、北山、高野、田原、重藪などを開拓して勢力を拡大していくのでした。

(「氏申しの里の案内」看板より引用)



写真：当時の弓と矢じり、菊家紋入りの弓袋

編集後記

皆様、少し遅くなりましたが、あけましておめでとうございます。DEすがねも、気がつけば今号で2周年。これもひとえに地域の方々、読者の皆様のお支えがあってこそです。これからも、地域に根ざした情報を発信していきたいと思っております。よろしくお祈りします！（須田浩史）